

よりよい人間関係の形成に基づく学びに向かう集団づくり

■研究指定・委嘱地域（校）

鞍手町教育委員会

（剣南小学校、剣北小学校、古月小学校、西川小学校、新延小学校、室木小学校、鞍手中学校）

研究の目標

学校生活や学習の基盤となる、よりよい人間関係を育み、学びに向かう集団づくりに資する教育活動の在り方を究明する。

研究の内容

- 視点1:よりよい人間関係を育む授業づくり
- 視点2:学びに向かう集団づくりに係る非認知的能力等の分析と学力との相関分析
- 視点3:学びに向かう集団づくりに向けた推進体制の整備

研究の成果

鞍手町の成果

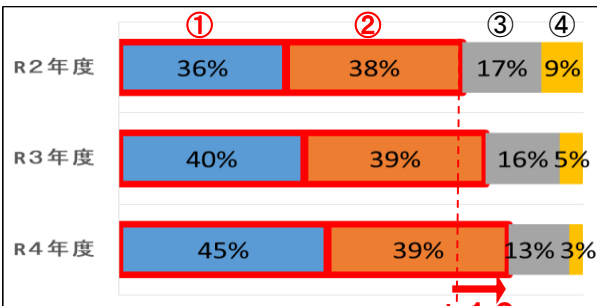
「よりよい人間関係の形成に基づく学びに向かう集団」の構成要素を、ふくおかリレーションシップテスト(以下「FRT」という。)における7要素の内、中心の概念である「信頼感」、積極性3要素の「協働性」、「自発性」、「社交性」と捉え、研究を推進した。

3年間の研究を通して、FRT4項目の総合値や鞍手町が独自に実施している、授業における学習意欲の4側面児童生徒質問紙(以下「学習意欲に関する調査」という。)の結果に高まりがみられ、鞍手町が目指す「個の集まり」から「よりよい人間関係の形成に基づく学びに向かう集団」に近づいた。

○ 「学習意欲に関する調査」において顕著な成果がみられた質問項目

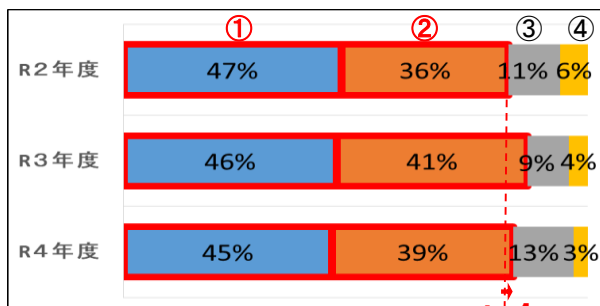
・先生の話や友だちの意見について、なるほどと思った時にうなずくことができる。

小学校



+10

中学校

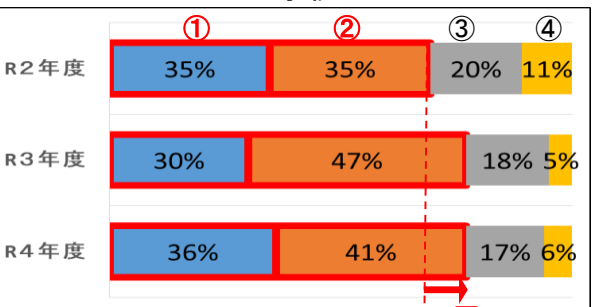


+1

①、②の合計の割合が、小学校で10ポイント、中学校で1ポイント上昇(R2とR4の比較)

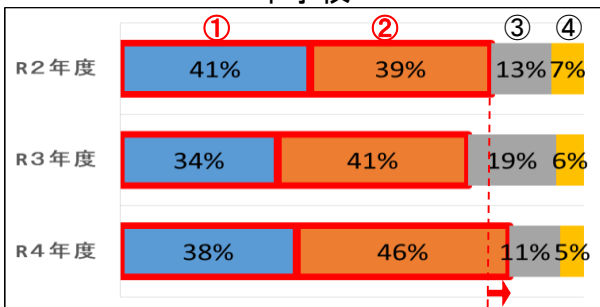
・クラスで学ぶ雰囲気はいここちがよい。

小学校



+7

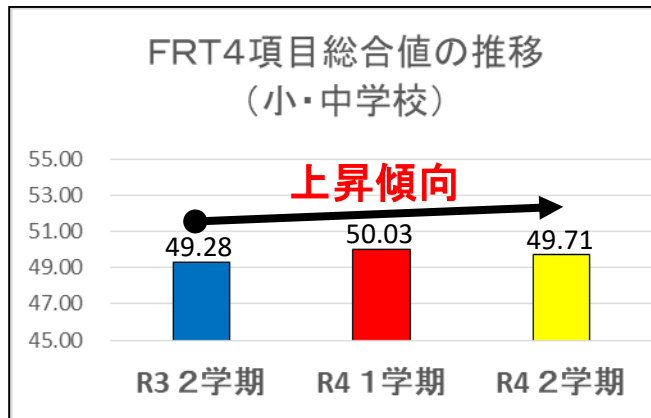
中学校



+4

①、②の合計の割合が、小学校で7ポイント、中学校で4ポイント上昇(R2とR4の比較)

■①あてはまる ■②どちらかといえばあてはまる ■③どちらかといえばあてはまらない ■④あてはまらない



おすすめポイント

鞍手町の研究ポイント(Q&Aで)



Q

よりよい人間関係を育む授業づくりを推進するにあたって、各教科等で取り組む際のポイントはどのようなことですか？

A

特別活動、道徳科、教科それぞれの「授業モデル」を作成し、「授業づくりのポイント」をまとめ、全教員でそれに沿った授業づくりに取り組むことがポイントです。

本町では、特別活動、道徳科、教科の関連を意識して授業づくりを行い、それぞれの取組が往還的に作用する「よりよい人間関係の形成に基づく学びに向かう集団づくり」を目指す授業を実践することができました。

【研究の実際「視点1」を参照】



Q

学びに向かう集団づくりに係る非認知的能力等の分析と学力との相関分析したことを研究に生かすためのポイントはどのようなことですか？

A

各種調査(FRT・学習意欲に関する調査)の実態分析から「学びに向かう集団」の構成要素を定義し、それをもとに取組を検証改善していくことがポイントです。

「学びに向かう集団」の構成要素と学力分析テストの結果を相関分析し次の実践につなげることが学びに向かう集団の形成につながります。

【研究の実際「視点2」を参照】



Q

中学校区で、学びに向かう集団づくりに向けた推進体制を整備し、運営する際のポイントはどのようなことですか？

A

運営推進委員会(事務局)、理論研究委員会等を設置し、それらの委員会を中心に研究組織を立ち上げ、研究の方向性を示すことが重要です。

その後、研究推進のための各種研修や部会を計画的に実施をするなど、核としての動きが求められます。

【研究の実際「視点3」を参照】



研究の実際 ■ 視点1：よりよい人間関係を育む授業づくり

鞍手町では、授業を通してよりよい人間関係の形成に基づく学びに向かう集団づくりを行うために、特別活動、道徳科及び教科の授業での学びが往還的に作用するよう、授業づくりを工夫しています。

よりよい人間関係を形成する特別活動、道徳科の授業づくり

特別活動

学級活動(1)における自発的、自主的活動の充実

- 授業モデルの作成
 - 合意形成を図る授業実践
- | |
|----------------|
| 必要感のある議題設定 |
| 合意形成に向かう話合いの工夫 |
| 集団を振り返る視点の設定 |
- 授業づくりのポイントの整理

人間関係形成の力を育成

道徳科

内容項目「B 主として人との関わりに関すること」の重点的な指導

- 授業モデルの作成
 - 内面的資質の育成を図る授業実践
- | |
|-----------------|
| 切実感をもたせる話題提示 |
| 多様な考えを生かす話合いの工夫 |
| 実践意欲の喚起と学びの価値付け |
- 授業づくりのポイントの整理

人間関係形成に向かう心情や態度等の育成

往還的に作用

よりよい人間関係の形成に基づく
学びに向かう集団づくり

往還的に作用

学びに向かう集団を形成する「協働学び」を位置付けた教科の授業づくり

教科

教科における対話的な交流活動の充実

- 授業モデルの作成
 - 「協働学び」の活性化を軸にした授業実践
- | |
|------------------|
| 課題意識を高める事象提示等の工夫 |
| 思考を促す発問、板書等の工夫 |
| 学びを振り返る視点の設定 |
- 授業づくりのポイントの整理

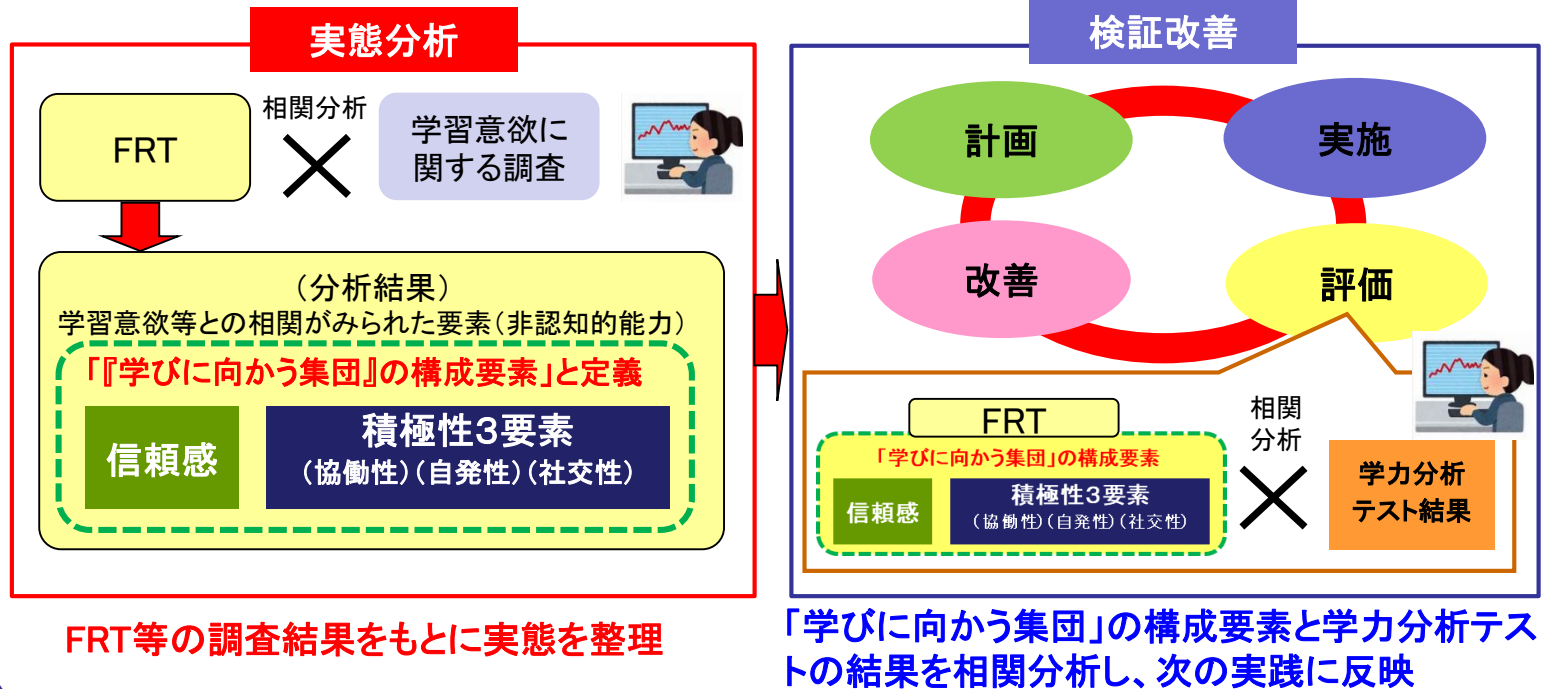


【交流活動の様子】

学びに向かう集団の形成

研究の実際 ■ 視点2：学びに向かう集団づくりに係る非認知的能力等の分析と学力との相関分析

学びに向かう集団づくりの取組を充実させるために、FRT、学習意欲に関する調査結果の相関分析により「学びに向かう集団」の構成要素を定義して実践を行い、非認知的能力等と学力との相関を分析して、取組の検証改善を行っています。



研究の実際 ■ 視点3：学びに向かう集団づくりに向けた推進体制の整備

研修体制の整備と研修内容の充実や、学習や学校生活のルール及び学習スタイルの整備と周知を図るために、町内小中学校全体で研究組織をつくり、共同で研究を推進しています。

研究推進組織

研究の計画、立案、研究部会相互の取組を調整します。



【運営推進委員会の様子】

鞍手町研究推進協議会
教育長・教育委員会・校長・教頭・教務担当・北九州教育事務所・教育センター・専門委員
(研究推進・実施要項作成・実施の検証・改善点の協議)

運営推進委員会(事務局)
校長・担当教頭・担当教務・教育委員会
(年間計画の作成、具体的な取り組みの立案、各部会相互の取組の調整)

理論研究委員会
代表校長・代表教頭・代表教務
(理論研究の推進、研究紀要の作成と各部の連絡調整)

研修・環境整備部
○ 学習基盤の整備
○ カリキュラム・マネジメントの推進
○ 教員研修会の計画実践

特別活動部会
1 特別活動年間計画の作成
2 学級活動(1)の授業づくり

道徳部会
1 道徳科の授業づくりのポイントの整理
2 道徳科の学習過程の作成

各教科部会
1 学びに向かう集団を生かす学習過程の作成
2 協働学びの活性化に向けた授業づくり

調査・分析推進部
○ 実態調査の実施と分析
○ 非認知能力等と学力の相関分析

理論研究を進め、研究紀要の作成と各研究部会との連絡調整をします。

児童生徒の実態把握と変容把握、各種調査の分析を行います。

研究協力校
鞍手中学校・剣南小学校・剣北小学校・古月小学校・西川小学校・新延小学校・室木小学校

学習基盤の整備、若年教員への支援、教員研修の計画実践を行います。

授業づくりのポイントを明確にした実践及び協議会の計画、実践検証を行います。